

開幕前および10月分外傷・障害発生状況

+ 集計方法

- :各クラブのメディカルスタッフが外傷・障害発生時にONE TAP SPORTSにその記録を入力
(データ入力に関するガイドラインに基づく)
- :研究倫理(個人情報取り扱いを含む)の研修を受けた株式会社ユーフォリアの担当者が
データを抽出し集計

+ 定義

- :開幕前期間→2023年8月1日～10月1日 / 10月分→2023年10月2日～10月31日
に発生した外傷・障害
- :試合または練習で発生した外傷・障害を対象
- :離脱を要する外傷・障害のみを対象

+ 集計

- :株式会社ユーフォリア(B.LEAGUE SCS推進チームメンバー_協賛社)

- 開幕前期間 -

- 10月分_リーグ戦消化率B1B2:15% -

▶ 期間内総数

135 件

80 件 ※昨対4.8%減

▶ B1/B2内訳

B1:77件(57.0%) B2:58件(43.0%)
1クラブあたりB1:3.2件 B2:4.1件

B1:46件(57.5%) B2:34件(42.5%)
1クラブあたりB1:1.9件 B2:2.4件

▶ 部位 / 種類

部位:足関節が最多(18.5%)
種類:足関節関節捻挫が最多(14.8%)

部位:足関節が最多(26.3%)
種類:足関節関節捻挫が最多(18.8%)

▶ 練習 / 試合

練習:80件(59.3%) 試合:55件(40.7%)

練習:16件(20.0%) 試合:64件(80.0%)

▶ 試合における発生率

-
※記録取得不可のため

B1:51.37件/1,000 athlete-hours ※昨対2.9%減
B2:62.05件/1,000 athlete-hours ※昨対24.8%増

▶ 平均出場時間

-
※記録取得不可のため

平均出場時間15分以上の選手群の外傷・障害発生割合は
15分未満の選手群の2.81倍(19.93% vs. 7.08%)

▶ 国籍区分

-
※加入・登録期間が一律ではないため

外国籍選手の外傷・障害発生割合は
日本人選手の2.00倍(22.83% vs. 11.40%)

+ 概要

:表1より、外国籍選手は日本人選手よりも平均出場時間が長い傾向があり、

出場時間の長さが外国籍選手全体の外傷・障害発生割合の高さに影響を与えている可能性がある

:一方で、表2より20-25 minおよび25-30 minの平均出場時間区分では、同区分であっても外国籍選手の発生割合は日本人選手の2倍程度高く、プレー時間の長さ以外にも外国籍選手に特有の要因があると考えられる

表1_各国籍区分における出場時間区分ごとの選手の割合と人数

平均プレー時間	日本人, %(人)	外国籍, %(人)	アジア枠, %(人)	帰化, %(人)
0-5 min	21.08 (74)	7.87 (10)	18.75 (3)	14.29 (2)
5-10 min	13.96 (49)	0 (0)	6.25 (1)	0 (0)
10-15 min	19.09 (67)	0.79 (1)	12.5 (2)	21.43 (3)
15-20 min	18.52 (65)	5.51 (7)	18.75 (3)	0 (0)
20-25 min	17.66 (62)	31.5 (40)	12.5 (2)	14.29 (2)
25-30 min	7.98 (28)	37.8 (48)	25 (4)	35.71 (5)
30-35 min	1.42 (5)	15.75 (20)	6.25 (1)	14.29 (2)
35-40 min	0.28 (1)	0.79 (1)	0 (0)	0 (0)
20分以上	27.35 (96)	85.83 (109)	43.75 (7)	64.29 (9)
25分以上	9.69 (34)	54.33 (69)	31.25 (5)	50 (7)

■ :0-9.99 ■ :10-19.99 ■ :20-24.99 ■ :25-

表2_平均出場時間区分および国籍区分ごとの発生割合および受傷者数

平均プレー時間	日本人, %(人)	外国籍, %(人)	アジア枠, %(人)	帰化, %(人)
0-5 min	6.76 (5)	0 (0)	33.33 (1)	0 (0)
5-10 min	4.08 (2)	- (0)	0 (0)	- (0)
10-15 min	10.45 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
15-20 min	20 (13)	14.29 (1)	66.67 (2)	- (0)
20-25 min	12.9 (8)	27.5 (11)	50 (1)	50 (1)
25-30 min	14.29 (4)	27.08 (13)	0 (0)	0 (0)
30-35 min	20 (1)	20 (4)	0 (0)	0 (0)
35-40 min	0 (0)	0 (0)	- (0)	- (0)

■ :0-9.99 ■ :10-19.99 ■ :20-24.99 ■ :25-

十 概要 : 表3より、**外国籍選手の外傷・障害発生割合は日本人選手の2.00倍 (22.83% vs. 11.40%)**

表3_国籍区分ごとの外傷・障害発生割合

国籍区分	調査対象人数, 人	受傷者人数, 人	発生割合, %	参考値:2022-23 終了時点での発生割合, %
外国籍	127	29	22.83	71.43
日本人	351	40	11.40	54.42
帰化	14	1	7.14	60.00
アジア枠	16	4	25.00	50.00
全体	508	74	14.57	58.40

SCSでの
討議状況

- : 特に外国籍選手がチーム活動に合流する際のコンディションが悪いケースがある
- : チーム活動に合流してから開幕までの期間が長くない、準備・トレーニングが不足している可能性
- : 外国籍選手のトレーニングやコンディショニングへのコミットメントが弱い可能性

+ 概要

: オフ期間明けなど、十分にトレーニングが積めていない時期に筋・腱への外傷・障害リスクが高まることは先行研究でも示されている
 : 特に大腿や下腿の肉ばなれ/筋断裂は件数が多く離脱期間も長い、予防する要素もあるため今後留意が必要

表4_開幕前期間の受傷部位、外傷・障害種類ごとの外傷・障害発生件数、離脱日数中央値

外傷・障害部位 / 種類	合計	B1	B2	練習	試合	離脱日数中央値	備考
足関節	25	14	11	17	8	6(15-3.75)	未復帰1件
関節捻挫(靭帯損傷)	20	11	9	15	5	5.5(12-3)	
肉ばなれ / 筋断裂	1	0	1	0	1	-	
関節炎 / 滑液包炎 / 滑膜炎	1	1	0	0	1	-	
骨挫傷	1	1	0	1	0	-	
脱臼	1	0	1	0	1	-	
インピンジメント症候群	1	1	0	1	0	-	
大腿	24	15	9	17	7	13.5(21.25-4.75)	
肉ばなれ / 筋断裂	11	7	4	10	1	21(30.5-12.5)	代表活動中1件
筋打撲傷	5	4	1	3	2	-	
筋膜 / 腱膜炎	3	2	1	2	1	-	
未入力	2	1	1	1	1	-	
筋痙攣	2	0	2	1	1	-	
腱障害	1	1	0	0	1	-	
膝	17	9	8	8	9	11.5(19.25-5.5)	未復帰1件
関節捻挫(靭帯損傷)	5	1	4	2	3	-	
骨挫傷	5	2	3	3	2	-	
その他のスポーツ外傷・障害	3	3	0	0	3	-	
未入力	2	2	0	1	1	-	
腱障害	1	1	0	1	0	-	
靭帯断裂	1	0	1	1	0	-	
下腿	16	8	8	10	6	15.5(24.5-2.25)	未復帰2件
肉ばなれ / 筋断裂	10	6	4	6	4	19(26.5-13.25)	未復帰2件
筋膜 / 腱膜炎	2	1	1	1	1	-	
筋打撲傷	2	0	2	1	1	-	
筋痙攣	1	0	1	1	0	-	
打撲傷(表在性)	1	1	0	1	0	-	

外傷・障害部位 / 種類	合計	B1	B2	練習	試合	離脱日数中央値	備考
腰 / 腰椎	10	5	5	7	3	8(12.5-5.25)	
筋膜 / 腱膜炎	4	3	1	2	2	-	
関節捻挫(靭帯損傷)	3	1	2	3	0	-	
関節炎 / 滑液包炎 / 滑膜炎	1	0	1	1	0	-	
その他のスポーツ外傷・障害	1	1	0	1	0	-	
筋打撲傷	1	0	1	0	1	-	
足	7	5	2	2	5	-	
顔面	6	2	4	4	2	-	
頭部(全て脳振盪)	5	3	2	2	3	-	離脱日数:3.4.7.10.25
肩	4	3	1	1	3	-	
指(母指以外)	4	2	2	2	2	-	
手関節	2	1	1	2	0	-	
臀部・骨盤・尾骨	2	2	0	1	1	-	
前腕	2	2	0	2	0	-	
胸部(胸部臓器を含む)	2	1	1	1	1	-	
胸椎・上背部	2	1	1	1	1	-	
アキレス腱	2	1	1	1	1	-	
頸部・頸椎	1	1	0	0	1	-	
手	1	0	1	0	1	-	
鼠径部 / 内転筋	1	0	1	1	0	-	
指(母指)	1	1	0	0	1	-	
腹部(内部臓器含む)	1	1	0	1	0	-	